



第1学年通信
第2号
H30.04.10発行

平成30年4月7日 入学式が挙行され、晴れて皆さんは米沢興譲館生となりました。担任の先生の呼名により返事をし、校長先生より本校への入学を許可されて、いよいよ高校生活が始まるのだと実感したことと思います。新入生代表の1組 蒲生海珠(がもうかいしゅ)くんの宣誓も、希望に満ちた立派な表明でした。

皆さんがこの日を迎えるまでには、ご家族や中学校の先生など多くの方々のサポートがあったことと思います。感謝の気持ちを忘れずに、これからの高校生活を充実させていきましょう。

さて、入学式では「この伝統ある米沢興譲館高校～」というフレーズが何度も繰り返されました。

凱歌(がいか)

♪栄えある歴史300年
連綿つきぬ興譲の～

作詞・作曲は不詳。興譲館中学校時代から歌われ続けたものだそうです。本校の沿革についてはこれから教わる機会があると思いますので、今回は「興譲館のまずはコレ」をピックアップし、〈興譲館を知る!〉をしてみたいと思います。

はじめに

教育精神

- ① 自他の生命を尊重する精神
- ② 己を磨き、誠を尽くす精神
- ③ 世のために尽くす精神

いわゆる「興譲の精神」です。
これからの学校で培われていきます。

つぎはバランスが大切なもの。

学びのねらい

- 知る** (自分、世の中の仕組み、職業や大学、知識)
- 体験する** (課題解決、協調性、創意工夫、企画・運営力、指導力、進路イメージ、意欲・主体性)
- 共感する** (自他の生命の尊重、コミュニケーション、ゆたかな人間性)
- 磨く** (知性、感性、品性、考えを捉え伝える)

そして、入学前の課題にもなっていた「弟子職」です。

弟子職

(安永五年九月 細井平洲先生の興譲館学則の出典)

先生教へを施し、弟子是れ則る。温恭にして自ら虚しくし、受くる所是れ極む。善を見ては之に従ひ、義を聞きては則ち服す。溫柔孝悌、驕りて力を恃むこと母かれ。志に虚邪母く、行ひは必ず正直、游居常有り、必ず有徳に就く。顔色整齋にして、中心必ず式み、夙に興き、夜に寝ね、衣帯必ず飾ふ。朝に益し暮に習ひ、小心翼翼、此に一にして解らず。是れ学則と謂ふ。

せっかくですから、ここで声に出して5回読んでみましょう。スラスラ読めるようになったかな。リズムよく読めるようになったら、どのような教えなのか、口語訳を頼りに考えてみましょう。

☞友達つくろう作戦 → 「こういうことだよ」と隣のひとと話をしてみて。